２０２６年（令和８年）　３月２８日　土曜日

東奥日報　１面　掲載

光星4強逃す

第98回センバツ高校野球

第98回選抜高校野球大会（センバツ）は第9日の27日、兵庫県西宮市の甲子園球場で準々決勝4試合を行った。第1試合で本県の八戸学院光星は中京大中京（愛知）に1―2で敗れ、準優勝した2012年以来14年ぶりとなる4強入りを逃した。

▽準々決勝

中京大中京（愛知）	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2
八学光星	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1

【詳報16、17面、兄の支え力にプレー31面】

八学光星は初回に先制されたが、直後に1番菅沼晴斗の二塁打や敵失で同点に追いついた。五回、安打や先発岩崎賢成の暴投などで1死三塁のピンチを迎え、犠飛で勝ち越しを許した。4番・指名打者（DH）で先発出場していたエース北口晃大が六回からマウンドに上がり好投したが、最後まで打線が相手投手を打ち崩せなかった。

仲井宗基監督(55)の甲子園通算30勝は、夏以降に持ち越しとなった。

（棟方好華）

中京大中京に1点差で敗れ、応援スタンドへのあいさつ後、ベンチに引き揚げる八学光星の選手ら＝27日、兵庫県西宮市の甲子園球場（撮影・千葉康之）

東奥日報社提供

この画像は当該ページに限って東奥日報社が利用を許諾したものです